

# 令和6年度「まつやま NPO サポートセンター」の中間支援事業に関する調査アンケート 調査結果報告

## 調査概要

### ◆ 調査目的

- ・本調査は、松山市 NPO 登録団体の皆様を対象に、サポートセンターの各業務について、皆様のご利用状況、そして、市の市民活動・NPO 活動支援として期待することをお聞きすることにより、今後のサポートセンター事業運営の改善及び向上を目的としています。

### ◆ 調査項目

- ・「まつやま NPO サポートセンター」の中間支援事業に関する調査

### ◆ 調査方法

- ・ Googleforms による回収及びセンター来所によるアンケート書面の回収

### ◆ 調査対象

- ・松山市 NPO 登録団体他松山市で活動する NPO 団体 約 220 団体

### ◆ 調査期間

- ・令和6年10月18日～10月31日実施

### ◆ 回答件数及び回答率

- ・回答団体数：35 団体(対象全体の約 15.9%)
- ・有効回答数：35 回答(人)

※「複数回答可」の設問では、1人が複数回答しているため、合計が合わない場合があります。

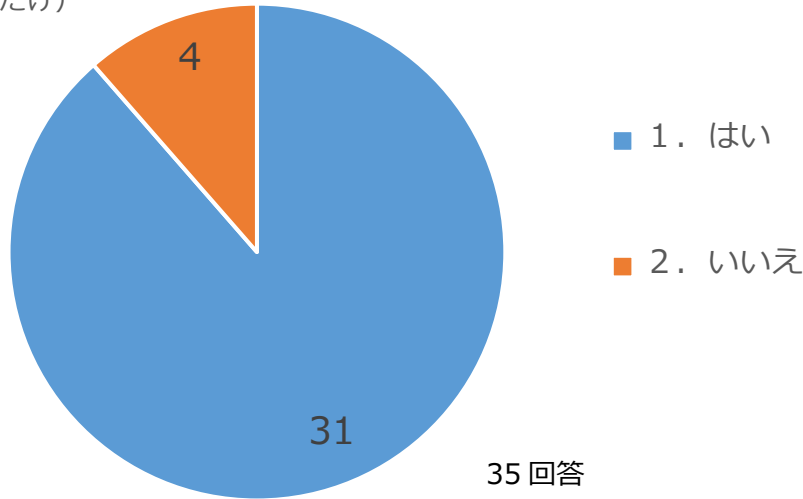
### ◆ 調査結果概要

約9割の団体が交流会に参加を希望し、「年1~2回の開催（ほぼ全員）」、「対面での開催（約8割）」、「一般参加（約6割）」を希望している。連携グループへの支援では、NPOとの顔合わせや紹介、事務局機能への支援、資金調達に関する希望が多い。現在のセンターの広報支援では、市民活動配送便とサポートセンターよりの満足度が全体的に高く、ネットワークメディア、掲示、プレスリリースはおおむね満足いただいている。今後の情報発信では、助成金・補助金情報のニーズが特に高い傾向があるが、全体的に幅広い情報提供を希望している。相談方法では、従来からある来所相談、メール相談、電話相談のニーズが高い一方、WEB相談やチャット相談にニーズも一定ある。約3割の団体が伴走支援を希望しており、その際、連携に関する支援や資金調達への支援ニーズが高いが、全体的に幅広い支援を希望している。約4割の団体が出前講座を希望し、その際、事業資金の調達や広報、会計、団体運営などを中心に全体的に幅広い講座内容を希望している。約8割の団体が協働や連携をして、事業や活動をしており、その際、パートナーシップができるような支援、イベント実施に関する支援など幅広い支援を希望している。センターに期待することは、助成金の情報提供が特にニーズが多い傾向があるが、政策制度の情報や広報手段の充実、施設紹介、市民への啓発活動など全体的に幅広い期待がある。

以上から、資金調達への支援、NPO 他様々なステークホルダーとの連携やパートナーシップに関する支援など幅広い支援を希望している傾向が強いことが分かった。個別ヒアリングなどを行いながら、支援体制を整えていきたいと考える。

Q1.

Q1 貴団体は、「まつやまNPOサポートセンター」（以下「センター」という）が主催する交流の場・交流会（NPO、地域、企業、行政、学校等の多様な主体）に参加したいと思いますか。（○は一つだけ）

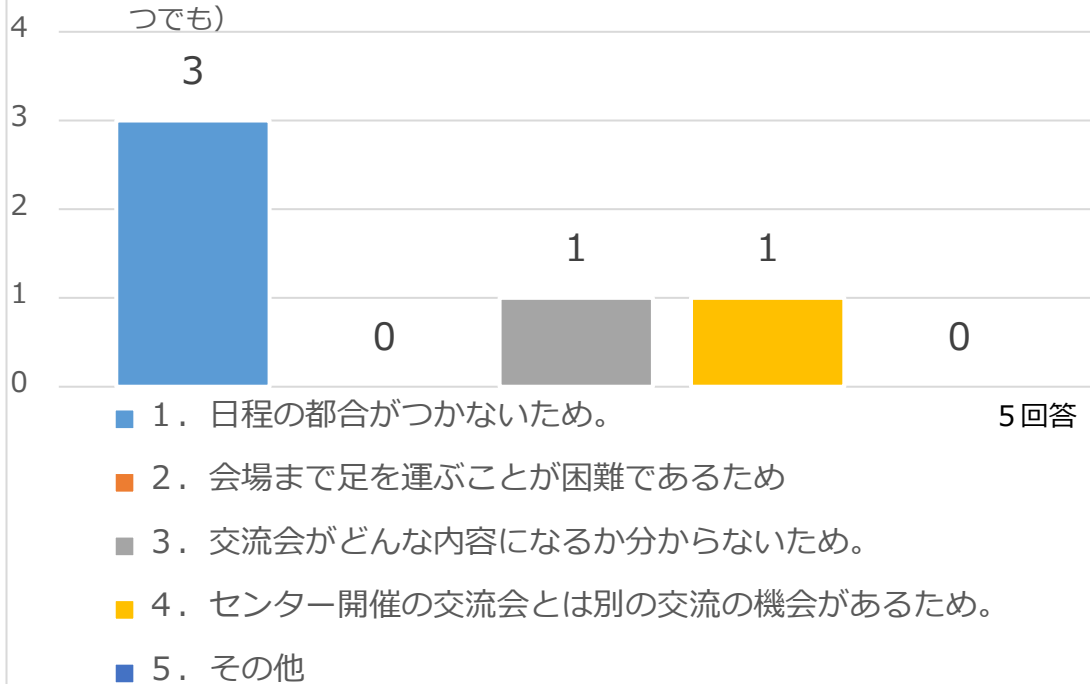


「はい」88.6%（31回答）、「いいえ」11.4%（4回答）となり、多くの団体が交流の場等に参加を希望していることがうかがえる。

【Q1で「いいえ」を選んだ方への質問】

Q1A.

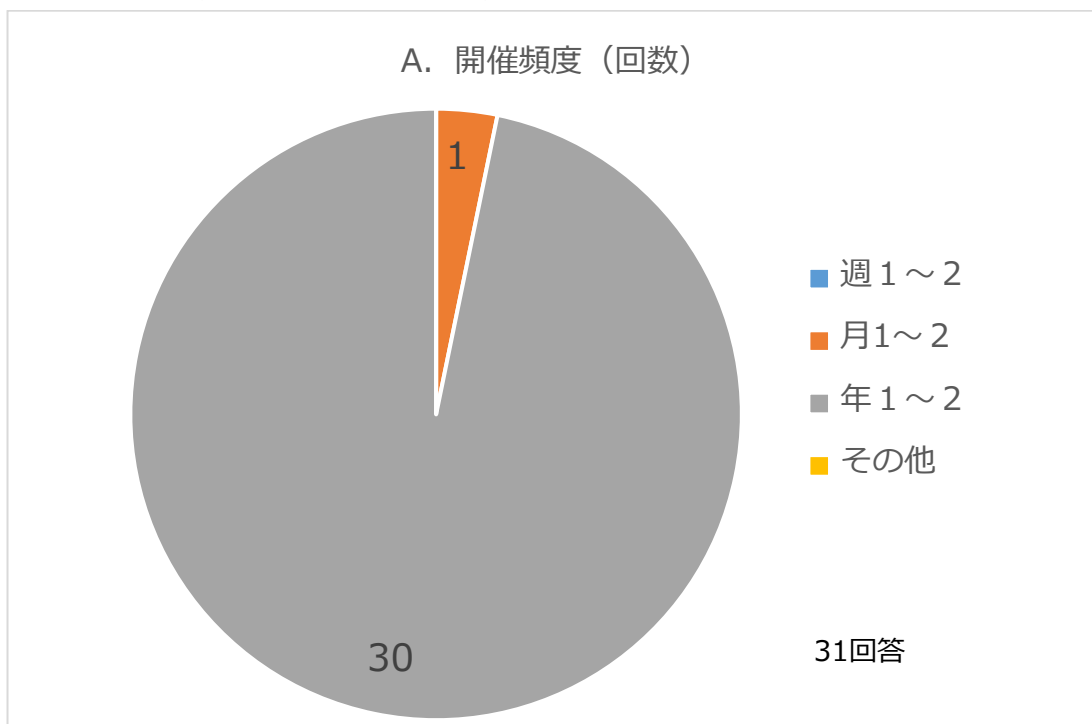
Q1A Q1で「2. いいえ」と回答した団体の方へ その理由は何ですか。当てはまるすべての番号に○をつけてください。（○はいくつでも）



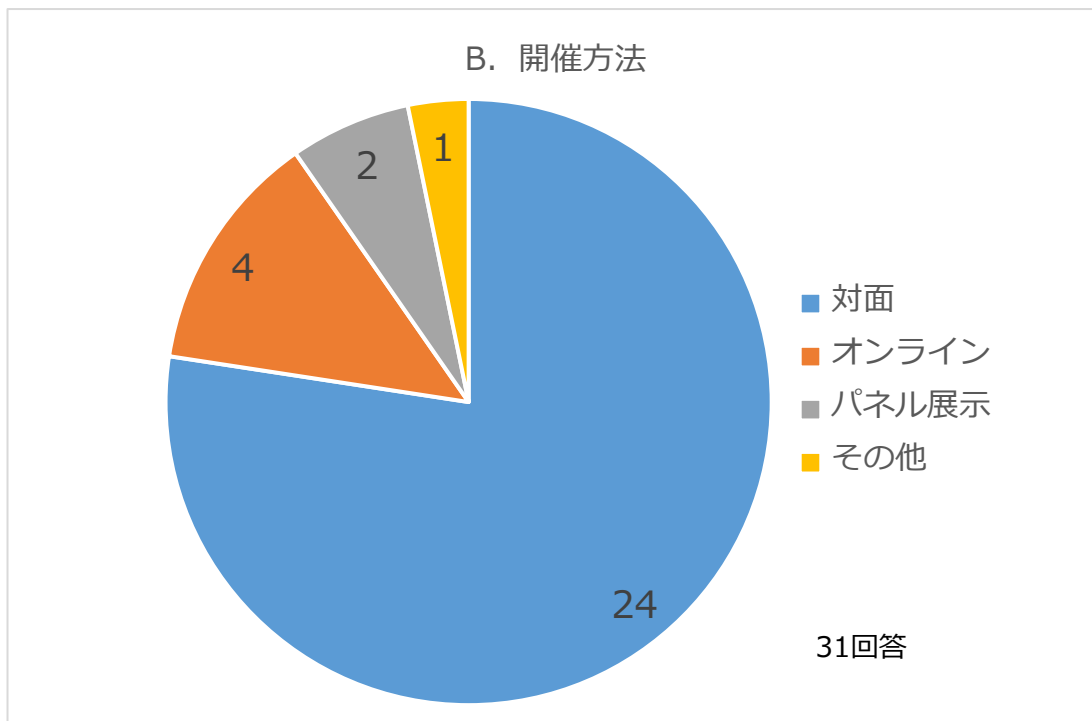
交流会に参加しない理由として、「日程の都合がつかないため」が3回答と最も多く、続いて「交流会がどんな内容になるか分からないため」「センター開催の交流会とは別の交流の機会があるため」がそれぞれ1回答となり、他の活動などで忙しいため、交流会の参加が難しい様子がうかがえる。

【Q1で「はい」を選んだ方への質問】

Q1B. 交流の場・交流会に参加すると考える場合に、各設問について、最もあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ一つずつ)

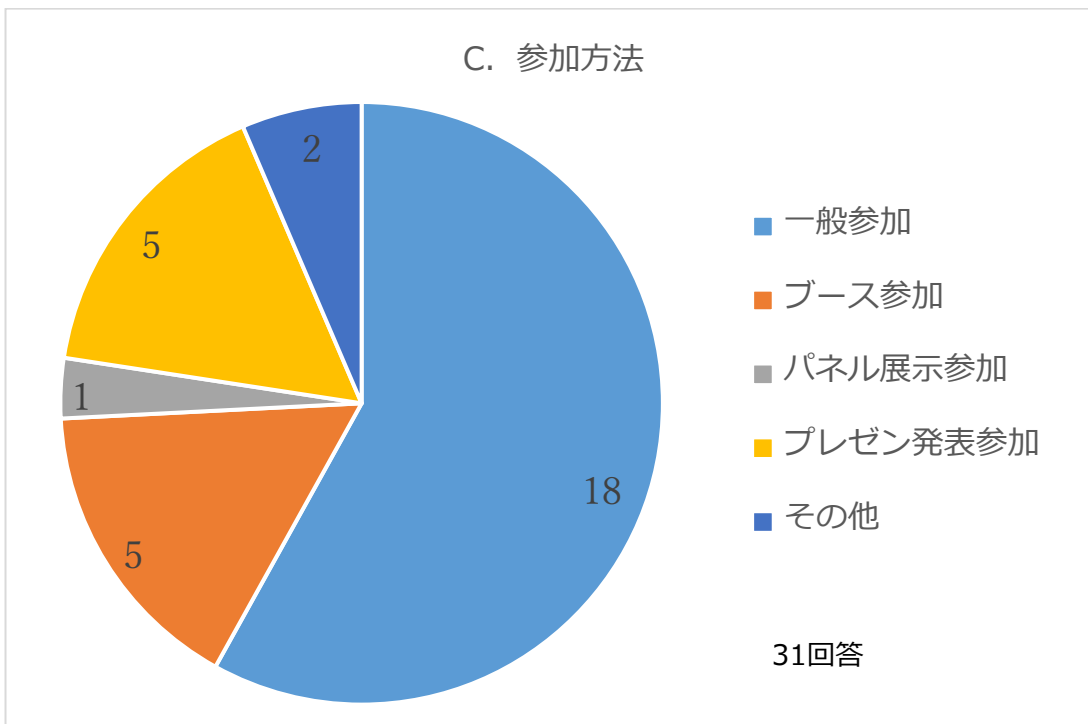


交流会の開催頻度では、「年1~2回」96.8% (30回答)、「月1~2回」3.2% (1回答)の順となり、多くの団体が年間1回程度の交流会を希望していることがうかがえる。



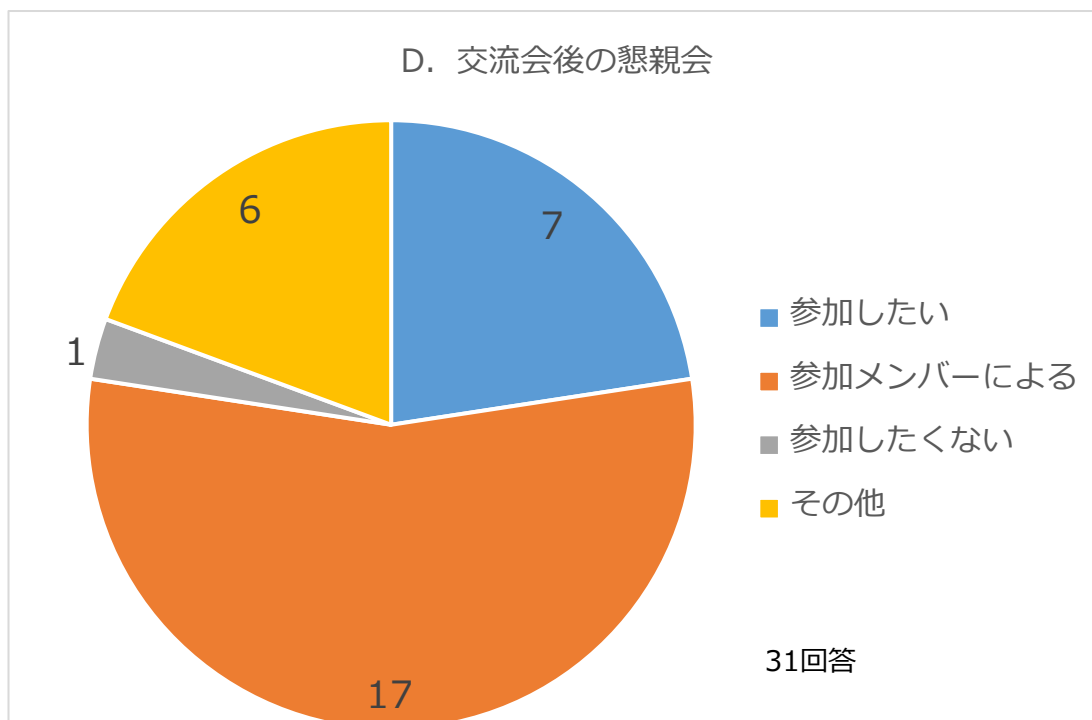
交流会の開催方法では、「対面」77.4% (24回答)、「オンライン」12.9% (4回答)、「パネル展示」6.5% (2回答)、「その他」3.2% (1回答)の順となり、実際に会って交流をすることを希望していることがうかがえる。

・その他 1 記載なし



交流会の参加方法では、「一般参加」58.1%（18 回答）、「ブース参加」「プレゼン発表参加」それぞれ 16.1%（5 回答）、「その他」3.2%（2 回答）、「パネル展示参加」3.2%（1 回答）の順となり、一般参加者として交流会に参加したいことがうかがえる

- ・その他 2 情報交換、就労系ならブース参加、放デイなら一般参加希望

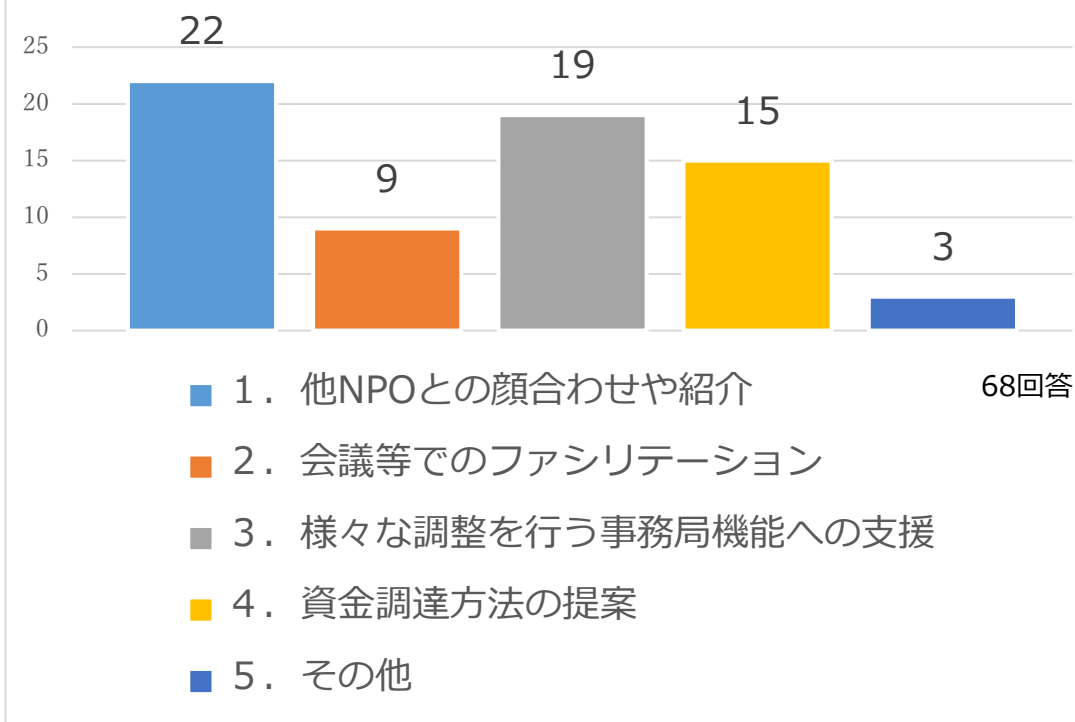


交流会後の懇親会では、「参加メンバーによる」54.8%（17 回答）、「参加したい」22.6%（7 回答）、「その他」3.2%（6 回答）、「参加したくない」3.2%（1 回答）の順となり、他の参加者によって、参加するかどうか決めたい様子が見られる

- ・その他 6 予定次第、業務との都合による、懇親会の形態による、当方の行事と重ならなければ参加可能、その時のタイミングによる、タイミングがあれば参加したい

## Q2.

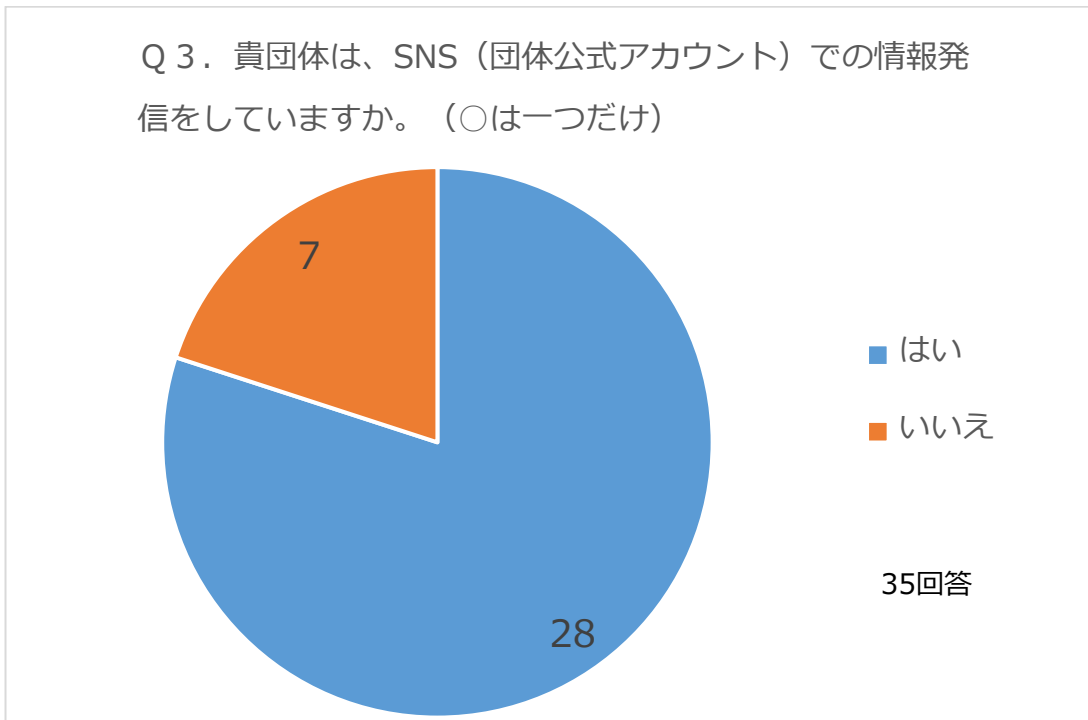
Q2. 貴団体は、NPO活動を行うときに、他NPOと協働して活動する連携グループ（実行委員会、プロジェクト運営委員会など）を作る場合、どんな支援があればいいと思いますか。当てはまるすべての番号に○をつけてください。（○はいくつでも）



連携グループへの支援では、「他NPOとの顔合わせや紹介」が22回答で最も多く、続いて「様々な調整を行う事務局機能への支援」が19回答、「資金調達方法の提案」が15回答の順となり、他NPOとの顔合わせの場の設定や紹介、事務局の支援、資金調達のニーズが高い様子が見えてくる。

・その他 3 今もとても頑張られていると思います。ただ、全員仕事を持っているため特に平日は参加できません。関連性があるNPO団体が協力し合ってイベントを開催できたら良いな、中間支援部分でのマッチング機能や提案機能、会議等でのファシリテーション

Q 3.



「はい」80.0%（28 回答）、「いいえ」20.0%（7 回答）となり、多くの団体が情報発信に SNS を活用していることがうかがえる。

**【Q 3 で「いいえ」を選んだ方への質問】**

Q 4. その理由は何ですか。以下に具体的にお書きください。  
個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・事務局が高齢で対応できないため
- ・ホームページと Facebook での情報発信をしているので
- ・以前は行っていた。更新がなかなか難しい。
- ・SNS 発信のノウハウに熟達したメンバーがない
- ・手が回らないため
- ・人材不足

Q5. 貴団体は、センターの行っている各団体への広報支援について、利用の有無と、次の点に関して、どの程度「役に立って」いますか。各設問について、利用の有無に○をつけ、利用したことがある方は、最もあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ一つずつ)

サポートセンター広報支援

1. 「掲示」サービス

センターの管理するコムズのロビースペースや松山市総合コミュニティーセンターのラックに、各団体のポスターを掲示したり、配布用のチラシを置いたりできるサービス

2. 「ネットワークメディア」サービス

センターホームページやブログ、メールマガジンで、団体のイベント情報を掲載し、助成情報など役に立つ情報を配信するサービス

3. 「市民活動配送便」サービス

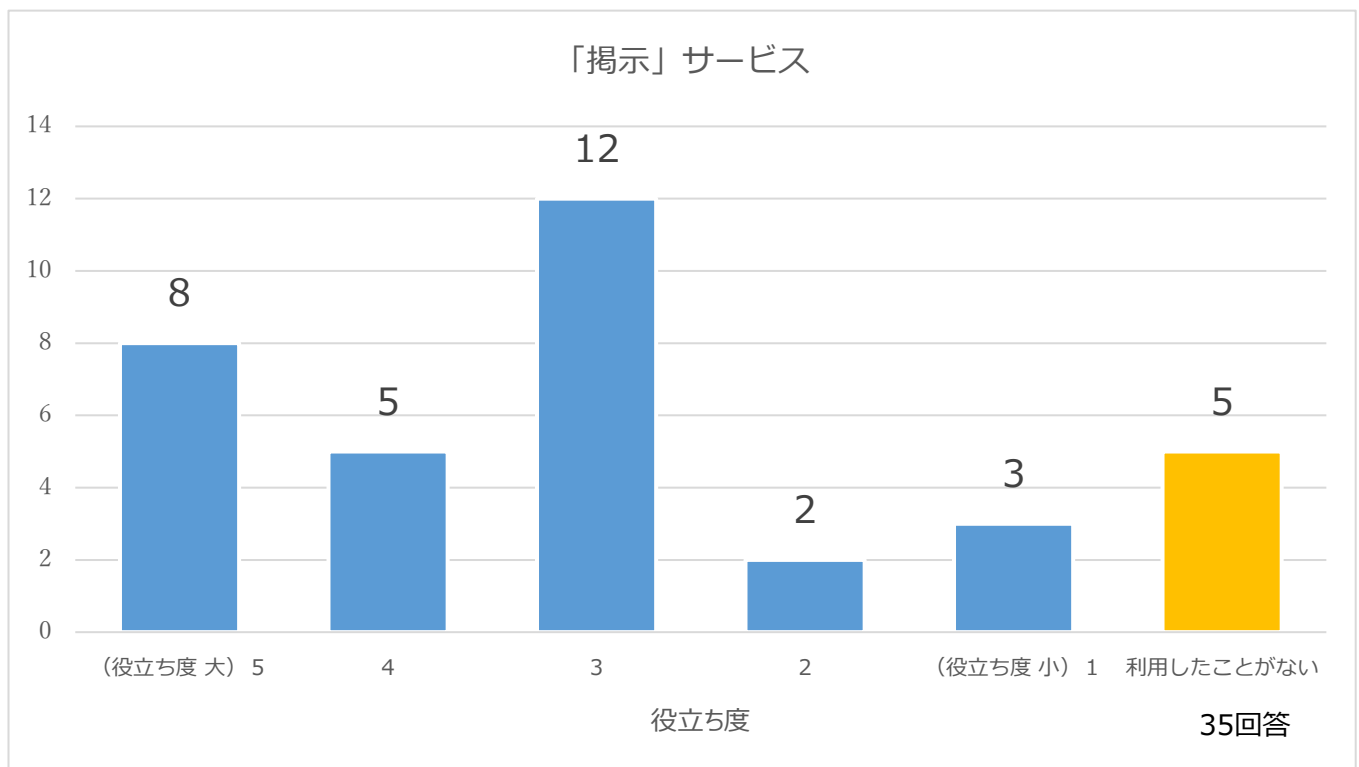
松山市有施設（公民館や児童館、小中学校等）に、団体のチラシを送付するサービス

4. 「サポセンだより」サービス

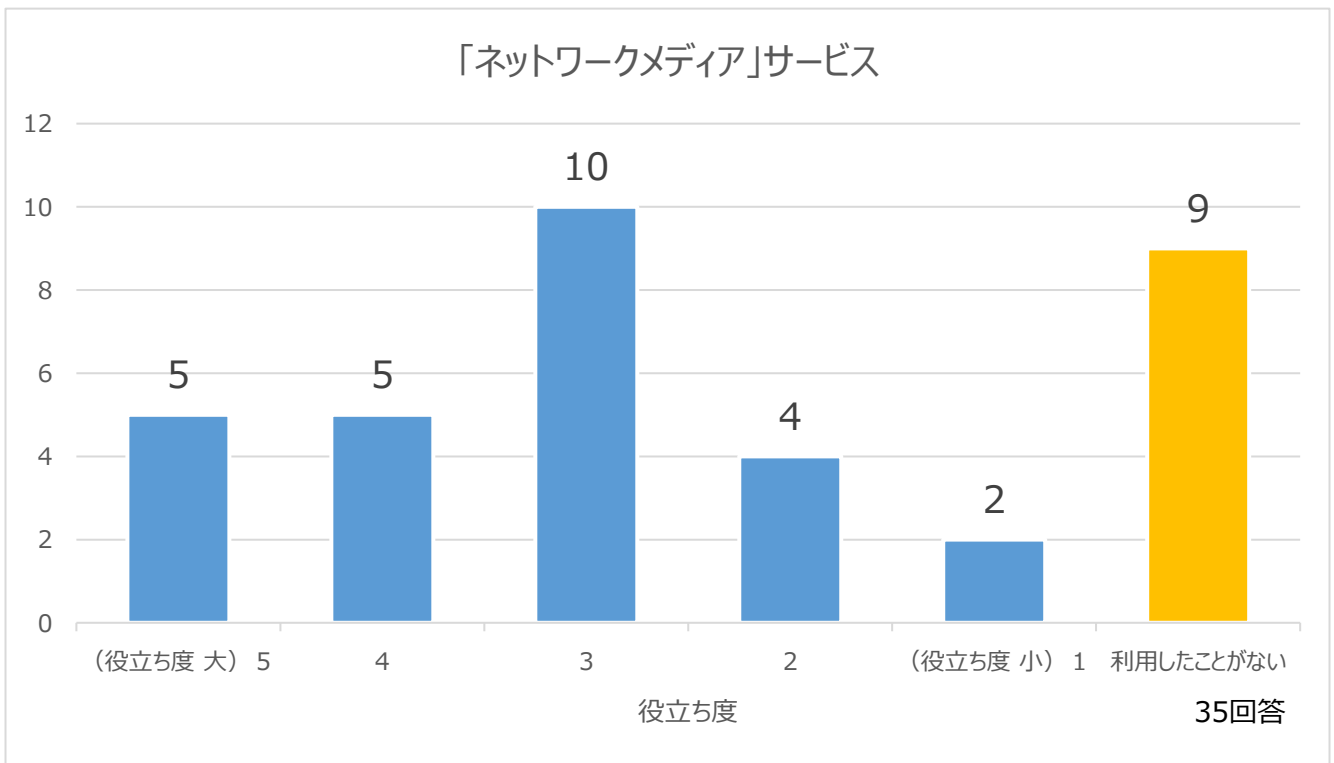
市内NPO 団体に団体のチラシを送付するサービス

5. 「プレスリリース」サービス

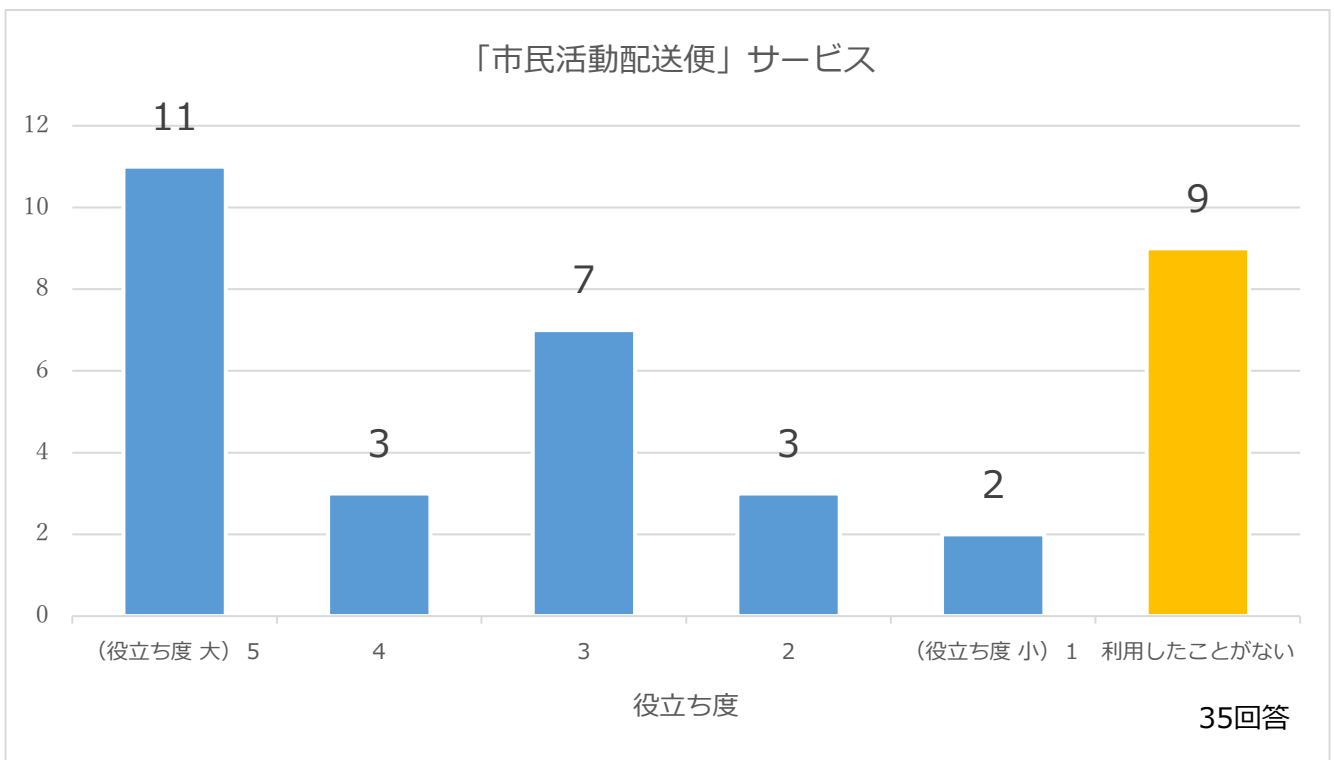
記者クラブやCA TV に、プレスリリース（報道発表資料）を代理送付するサービス



掲示サービスでは、「役立ち度3」が12回答で最も多く、続いて「役立ち度5(大)」が8回答、「利用したことがない」「役立ち度4」がそれぞれ5回答の順となり、おおむね掲示サービスの内容にご満足いただいている様子がうかがえる。

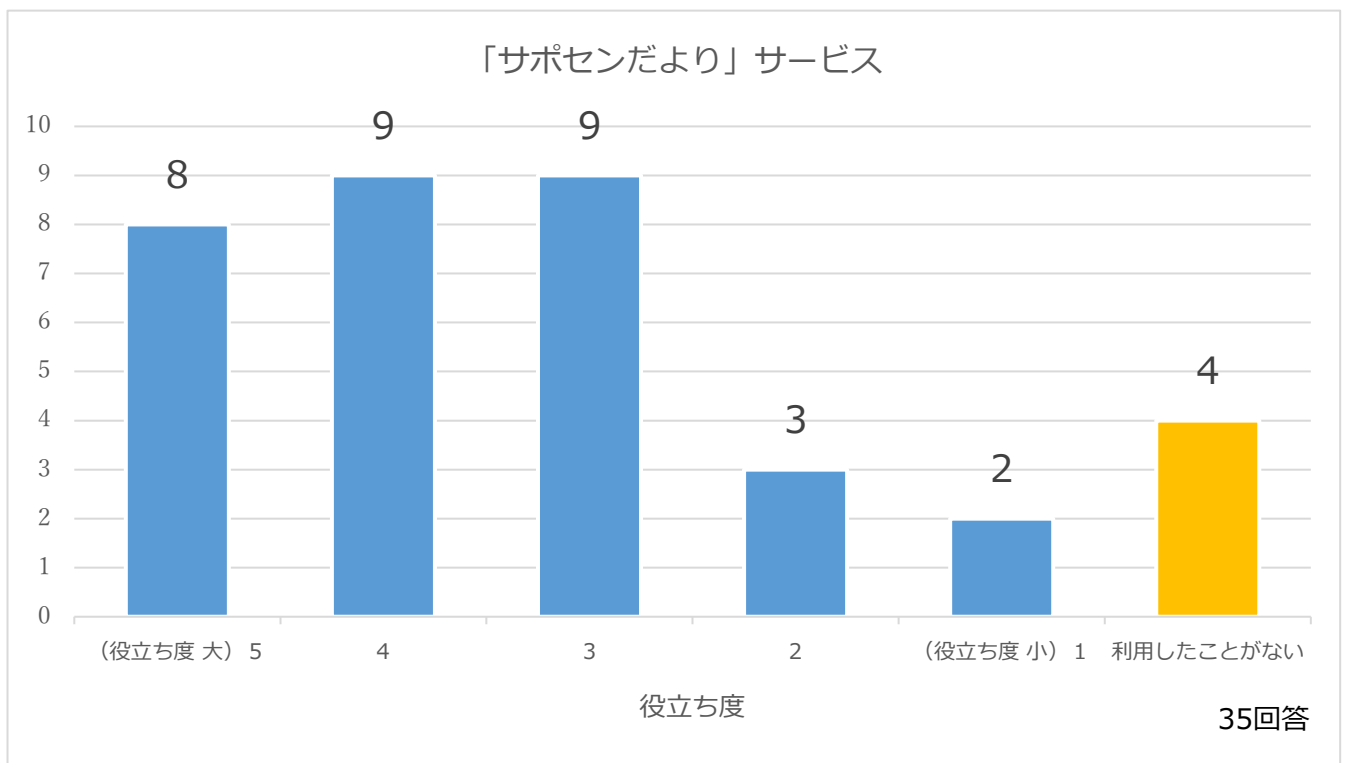


ネットワークメディアサービスでは、「役立ち度3」が10回答で最も多く、続いて「利用したことがない」が9回答、「役立ち度5」「役立ち度4」がそれぞれ5回答の順となり、利用した団体はご満足いただいている一方、利用したことがない団体も25%程度いる様子が見えてくる。

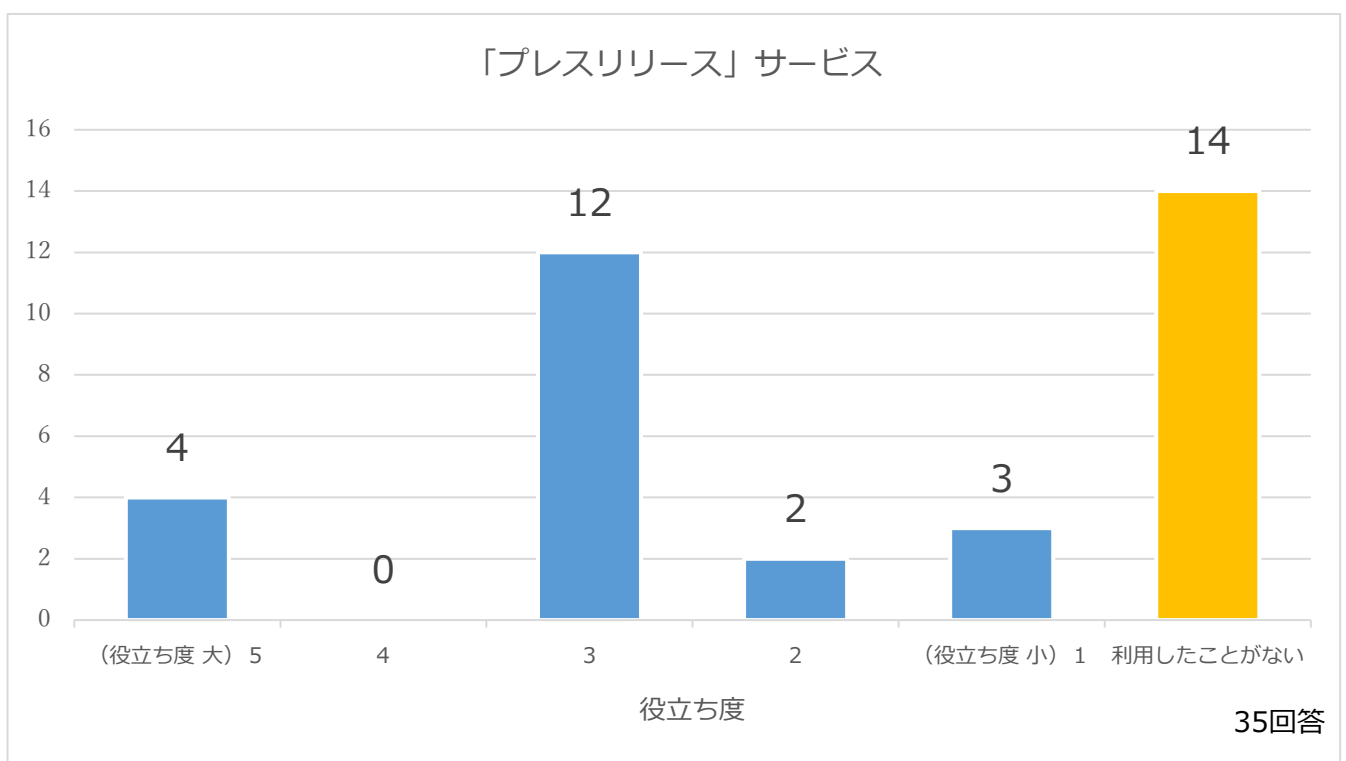


市民活動配送便サービスでは、「役立ち度5（大）」が11回答で最も多く、続いて「利用したことがない」が9回答、「役立ち度3」が7回答の順となり、利用した団体は大変ご満足いただいている一方、利用したことがない団体も25%程度いる様子が見えてくる。





サポセンだよりサービスでは、「役立ち度4」「役立ち度3」が9回答で最も多く、続いて「役立ち度5(大)」が8回答の順となり、サービスの内容に大変ご満足いただいている様子が見えてくる。



プレスリリースサービスでは、「役立ち度3」が12回答で最も多く、続いて「利用したことがない」が14回答の順となり、利用した団体はおおむね掲載サービスの内容にご満足いただいている一方、利用したことがない団体も40%いることがうかがえる。

Q6. 貴団体は、上記以外に、NPOの活動の情報発信を行うときに、センターでどのような広報支援があればいいと思いますか。以下に具体的にお書きください。

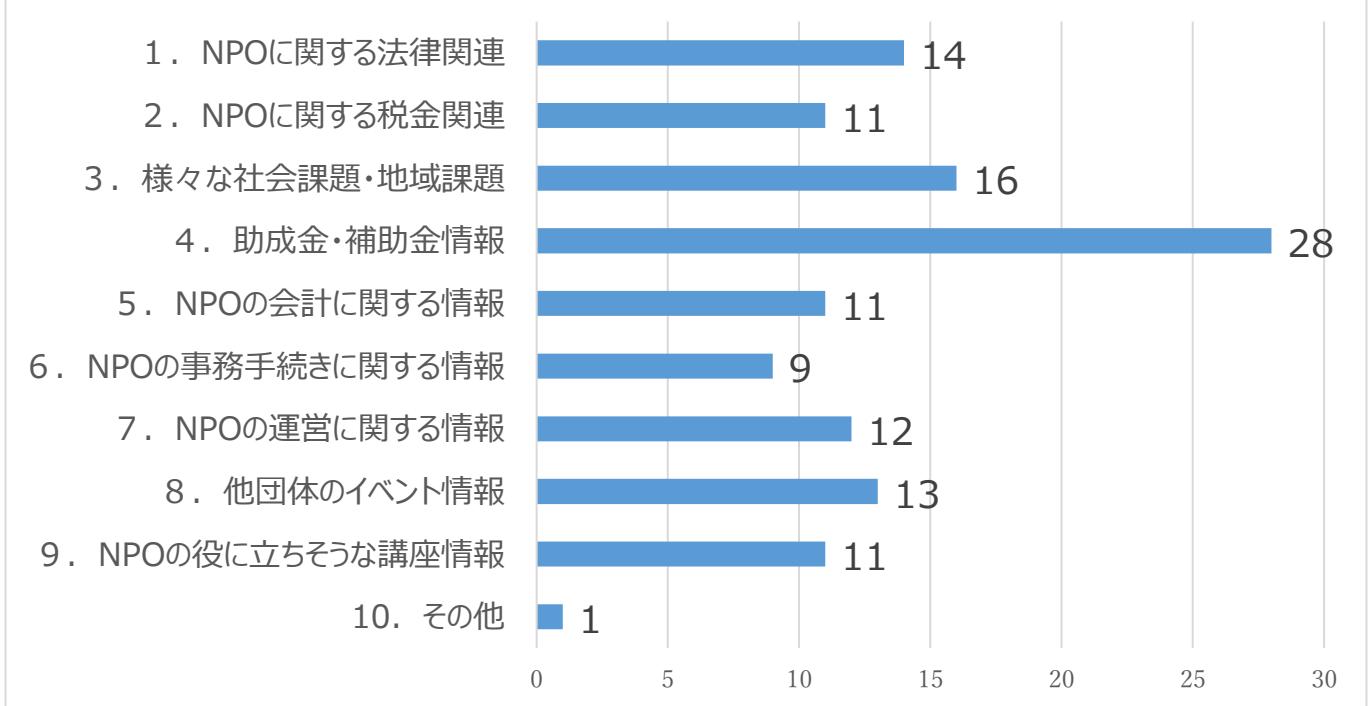
個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・特になし
- ・広報効果のありそうな団体の紹介(似た活動分野の団体の紹介)
- ・センターの SNS フォロワーの拡大と、発信力の向上
- ・インスタグラム、X
- ・チャットによる Q&A
- ・対象者へ情報が届くような支援。他団体同士の広報支援 (似た対象者がいる団体へ相互広報)
- ・初期支援
- ・ケーブルテレビでの宣伝
- ・NPO 活動を通じての市政への提案のフォローや窓口の設置

### Q7

Q7. 貴団体は、センターの「ネットワークメディアサービス」等で配信する情報に関して、どのような情報があればいいと思いますか。当てはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

126回答



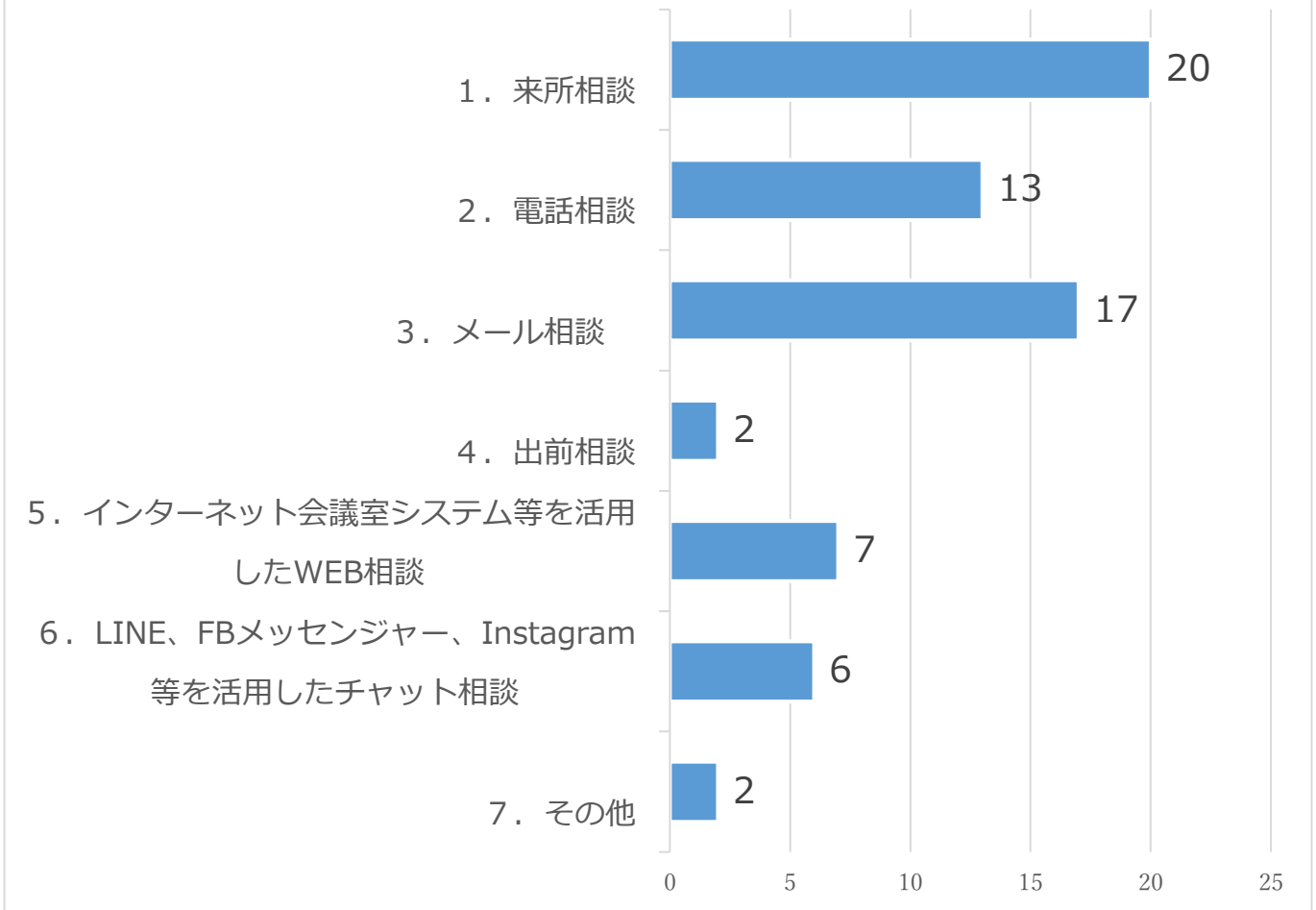
ネットワークメディアサービスの配信情報では、「助成金・補助金情報」が28回答で最も多く、続いて「様々な社会課題・地域課題」が16回答、「NPOに関する法律関連」が14回答、「他団体のイベント情報」が13回答、「NPOの運営に関する情報」が12回答、「NPOに関する税金関連」「NPOの会計に関する情報」「NPOの役に立ちそうな講座情報」がそれぞれ11回答の順となった。助成金・補助金情報のニーズが特に高い傾向があるが、全体的に幅広い情報提供を希望している様子が見える。

- ・その他 1 記載なし

Q 8

Q 8. 貴団体は、今後、センターでどのような方法で、相談をしたいですか。当てはまるすべての番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

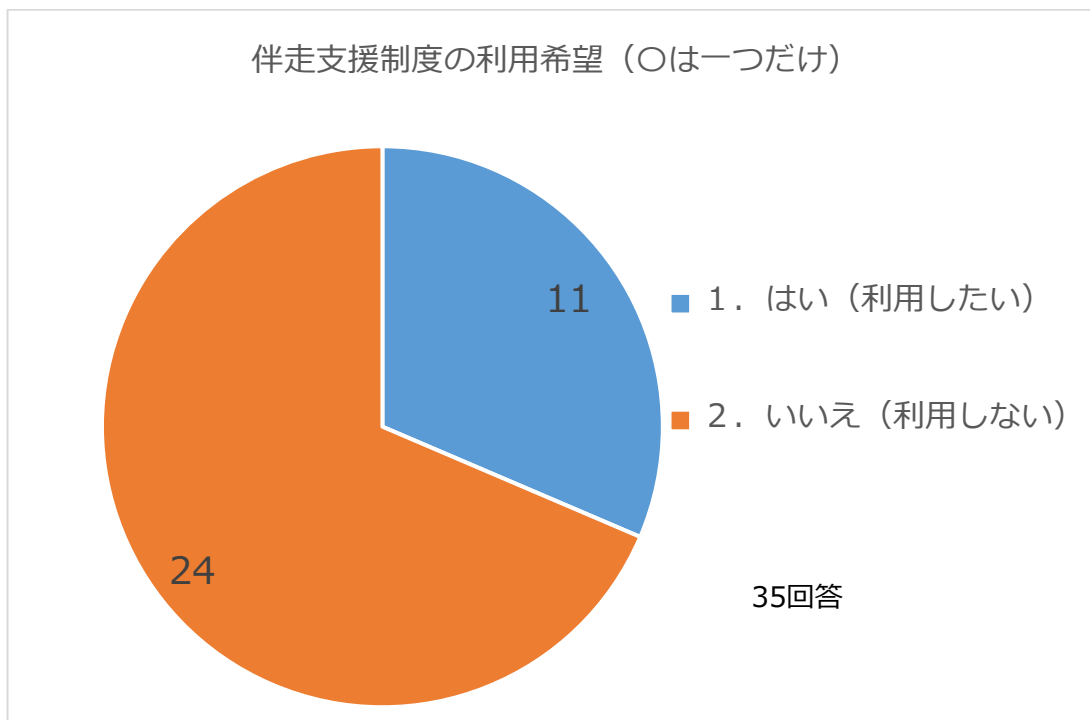
67回答



センターの相談方法では、「来所相談」が20回答で最も多く、続いて「メール相談」が17回答、「電話相談」が13回答、「インターネット会議システム等を活用したWEB相談」が7回答、「LINE、FBメッセージ、Instagram等を活用したチャット相談」が6回答の順となり、従来からある来所相談、メール相談、電話相談のニーズが高い一方、WEB相談やチャット相談にニーズも一定程度ある様子が見えてくる。

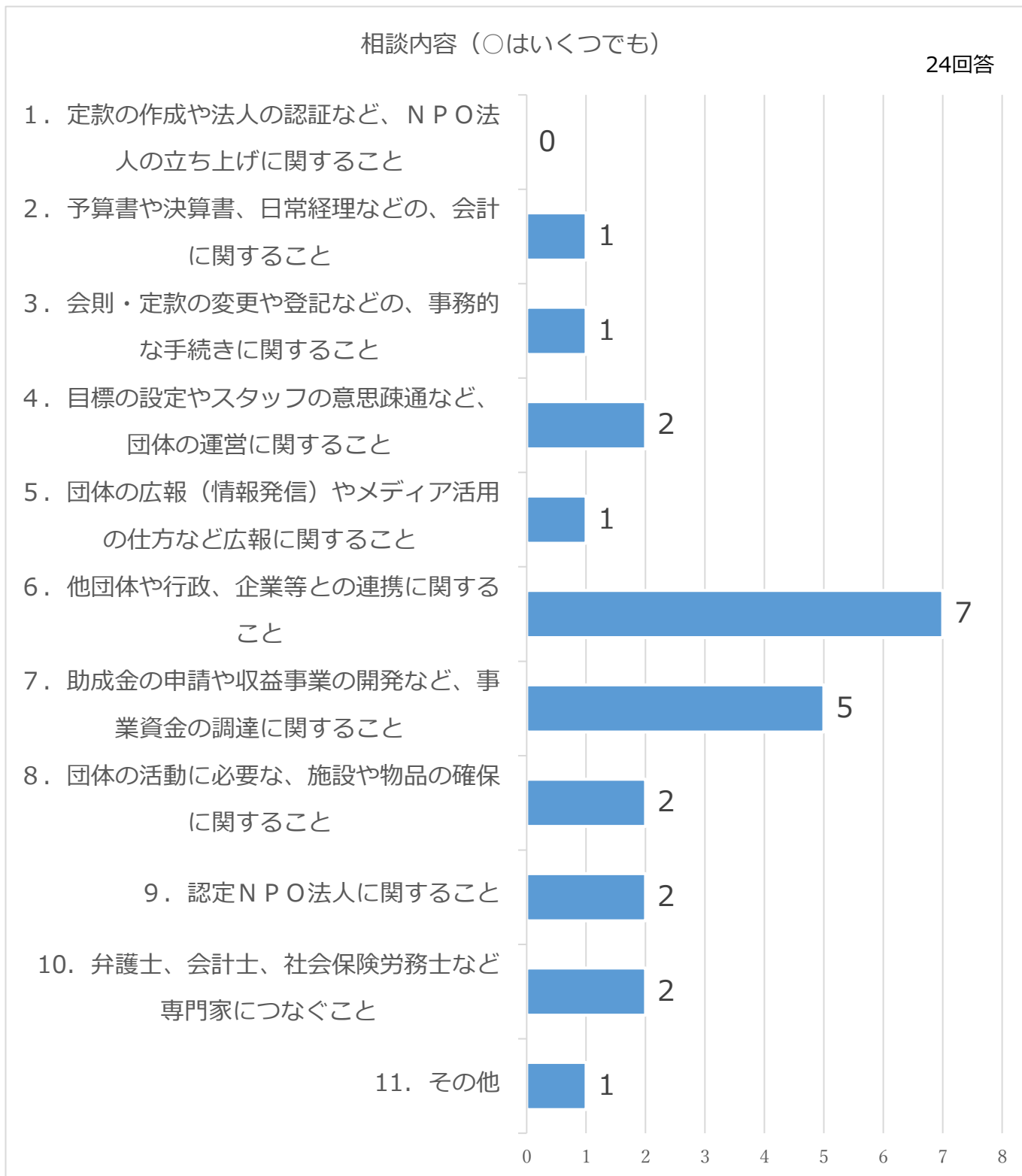
・その他 2 担当者による、記載なし

Q9. 貴団体は、今後、センターの伴走支援制度（月1回程度、最大6か月、同じテーマに関して継続的なサポートを行う）を利用したいですか。利用を希望する場合、どのような相談内容で利用したいですか。



「はい（利用したい）」31.4%（11回答）、「いいえ（利用しない）」68.6%（24回答）となり、約3割の団体が伴走支援を利用したいという希望があることがうかがえる。

【Q9. 「伴走支援制度の利用希望」で「はい」を選んだ方への質問】



利用希望者の相談内容では、「他団体や行政、企業等との連携に関する事」が7回答で最も多く、続いて「助成金の申請や収益事業の開発など、事業資金の調達に関する事」が5回答の順となり、連携に関する支援や資金調達への支援へのニーズが高いが、全体的に幅広い支援を希望している様子が見える。

・その他 1 記載なし

Q10. 貴団体は、上記以外に、相談に関してセンターに対応してほしいことは何ですか。具体的にお書きください。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・当団体の運営、新たに違う事業展開など
- ・特になし
- ・長期的な目線での持続可能な団体運営を見据えた事業計画についての相談
- ・NPO 活動は思いがあるけれども資金的に挫折するケースが多いと感じる。改善点などを行政に交渉する流れの案がほしい
- ・組織基盤の構築、旅費規定や謝金規定の作り方、グッドガバナンス認証についてなど
- ・関連する団体の情報
- ・会計処理についての相談
- ・相談者の専門性やジャンル、パーソナルなところの公表
- ・心理的に安心して相談できる環境
- ・補助金等の申請書類の書き方の相談
- ・他団体の広報活動の現状を知るための交流の場作り
- ・助成金や補助金だけでなく、市独自の NPO 活動融資等の情報や取次。

## 人材育成

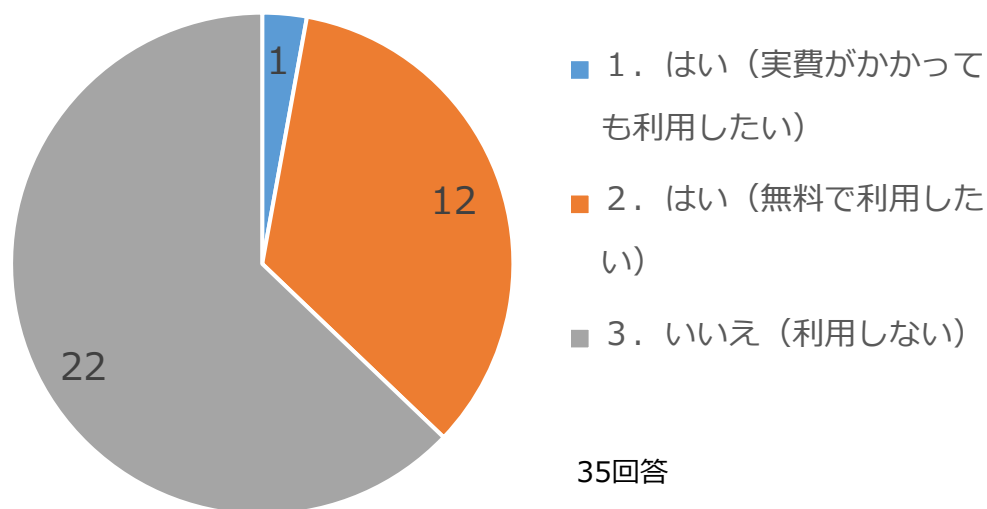
Q11. 貴団体は、今後どのような内容の講座を受講したいですか。具体的にお書きください。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・立ち上がり～成熟期以降、次の代にバトンを引き継ぐときのやり方など
- ・法制度変更に関する講座
- ・NPO 連携、マスコミ
- ・当団体の正規会員のやる気を起こし方、会場等（野外）の利用のアドバイス
- ・特になし
- ・ボランティア活動とは何か、ボランティアと仕事の違い
- ・行政と NPO のタイアップ事例
- ・バックオフィス関連
- ・認定 NPO 法人として活動している団体の苦労話など
- ・スポーツ医事
- ・団体の維持
- ・ファンドレイジング
- ・助成金申請についての講座
- ・助成金やクラウドファンディングのノウハウについて

## Q12

Q12. 貴団体は、センターの出前講座（1団体年1回、NPOの設立運営に関する役職員育成の支援）の制度を利用したいですか。（○は一つだけ）

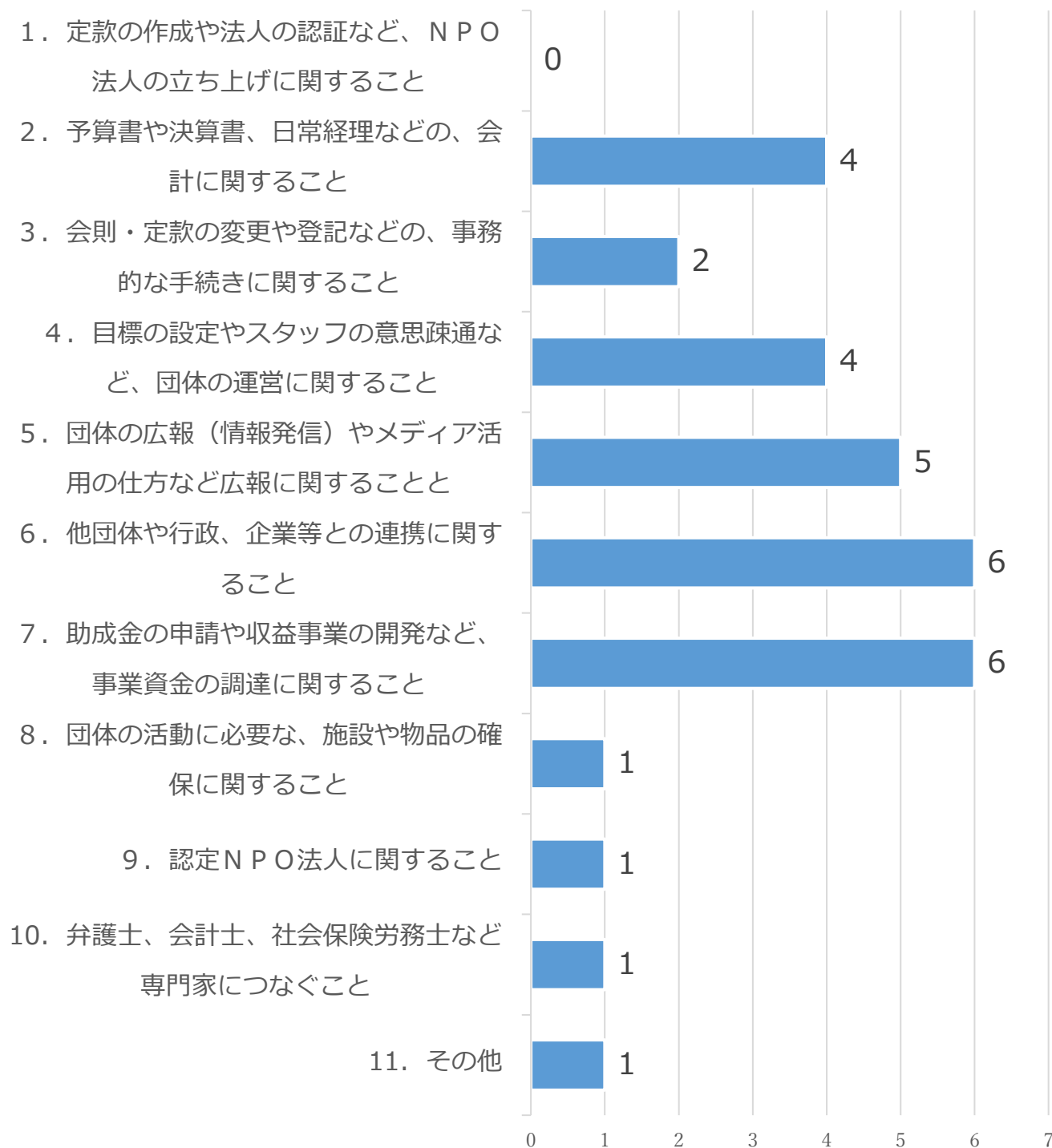


「はい（実費がかかっても利用したい）」2.9%（1回答）、「はい（無料で利用したい）」34.3%（12回答）、「いいえ（利用しない）」62.9%（22回答）の順となり、約4割の団体がセンターの出前講座の利用を希望していることがうかがえる。

【Q12で「はい」を選んだ方への質問】

利用を希望する場合、どのような内容で利用したいですか。（〇はいくつでも）

24回答



利用希望者の講座内容では、「他団体や行政、企業等との連携に関すること」「助成金の申請や収益事業の開発など、事業資金の調達に関すること」がそれぞれ6回答で最も多く、続いて「団体の広報（情報発信）やメディア活用の仕方など広報に関すること」が5回答、「予算書や決算書、日常経理などの、会計に関すること」「目標の設定やスタッフの意思疎通など、団体の運営に関すること」がそれぞれ4回答の順となった。事業資金の調達や広報、会計、団体運営などを中心に全体的に幅広い講座内容を希望している様子がうかがえる。

・その他 1 今具体的には思いつかないが、後継者問題は意識していきたい



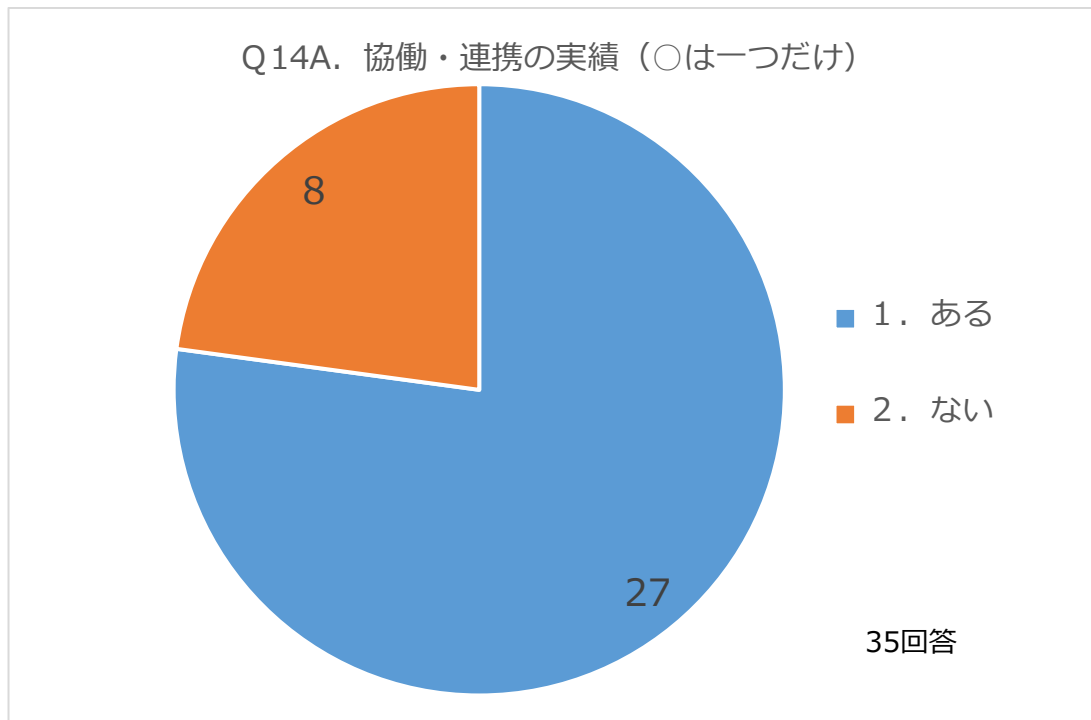
Q13. 貴団体では、講座に関してセンターに対応してほしいことは何ですか。具体的にお書きください。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・新規講座への取組み
- ・支出の細かい規定に関する相談
- ・当団体の存続
- ・特になし
- ・ボランティアの意義、仕事との違い
- ・収益事業を成功させている団体や過程などの具体的な話
- ・時間の設定などの配慮。土日の昼など
- ・受講しやすい雰囲気づくり

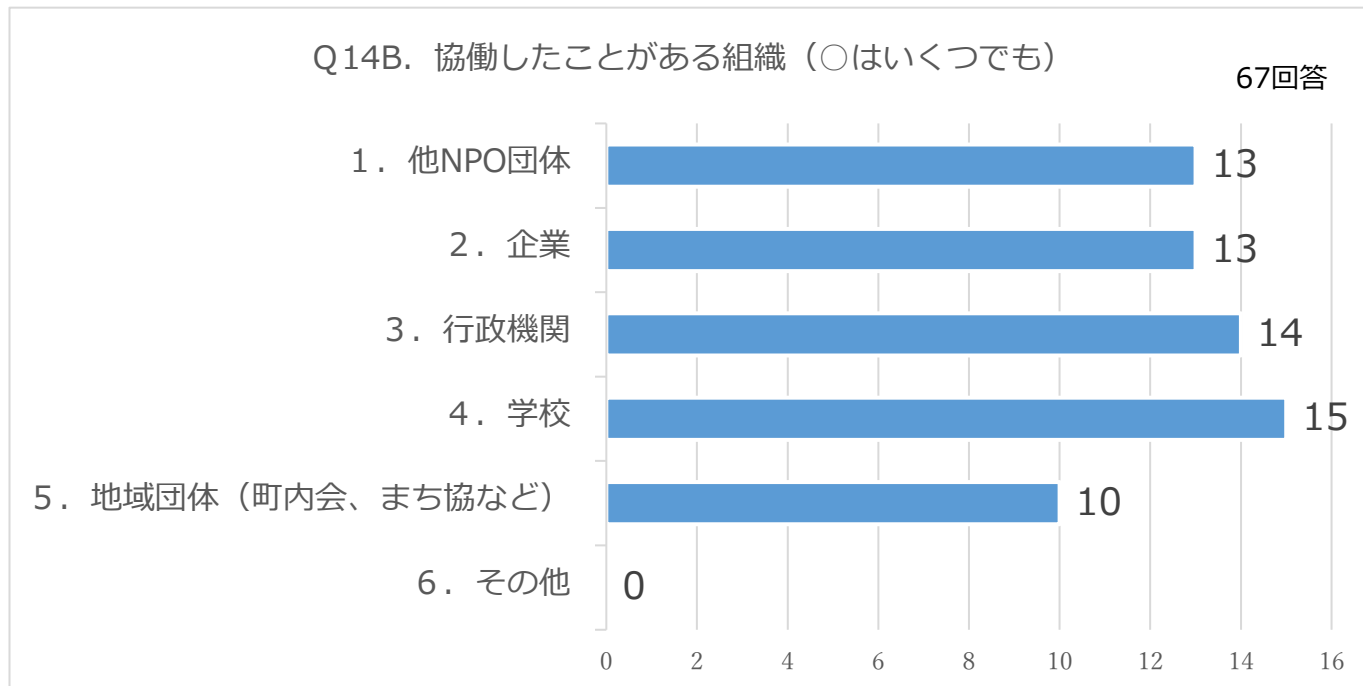
### 協働

Q14. 貴団体では、他 NPO 団体・企業・行政機関・学校・地域団体（町内会・まち協など）などと協働・連携をして、事業や活動を行ったことがありますか。それはどの組織と行ったどのような協働でしたか。具体的にお書きください。



「ある」77.1%（27 回答）、「ない」22.9%（8 回答）となり、約 8 割の団体が協働や連携をして、事業や活動をしていることがうかがえる。

【Q14A. 「協働・連携の実績」で「ある」を選んだ方への質問】



協働したことがある組織では、「学校」が15回答で最も多く、続いて「行政機関」が14回答、「他NPO団体」「企業」がそれぞれ13回答、「地域団体」が10回答となり、多様な組織と協働している様子がうかがえる。

・その他 6 今のところは特に思い当たりません。行政との連携の際の伴走、ボランティア参加、具体的に思いつかない、記載なし

【Q14A. 「協働・連携の実績」で「ある」を選んだ方への質問】

Q14C. 貴団体は、どの組織と行ったどのような協働でしたか。具体的にお書きください。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

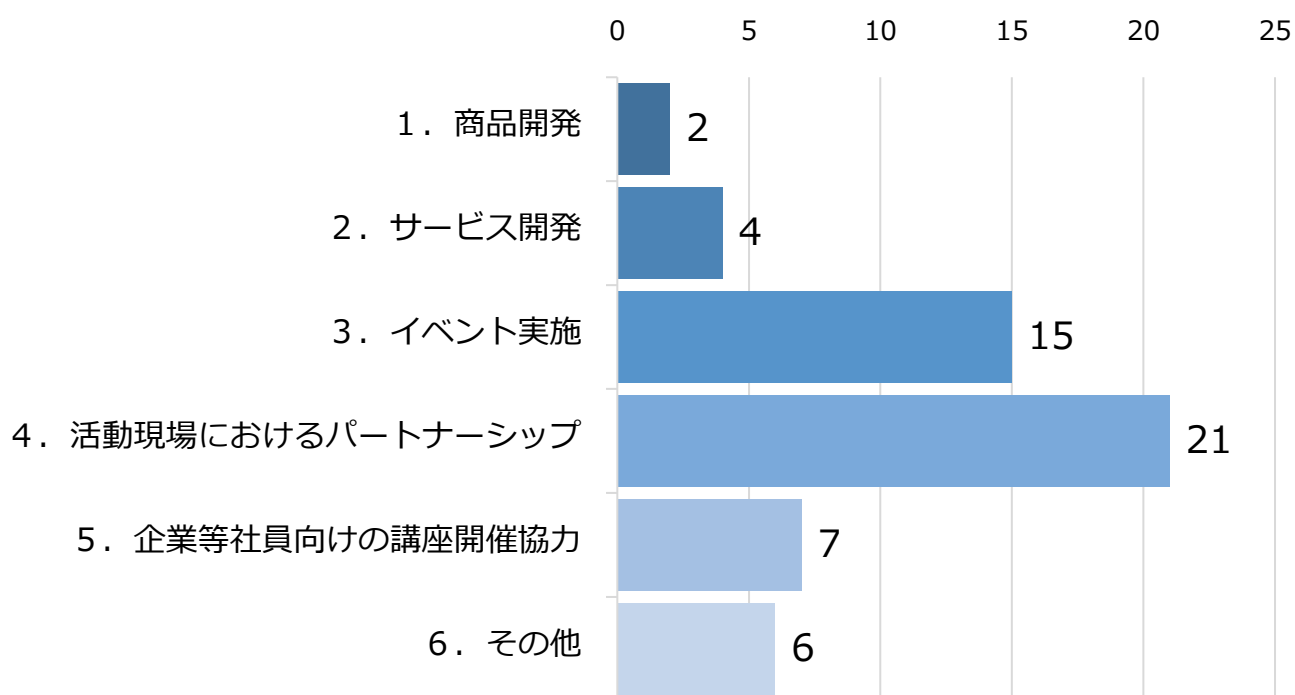
- ・松山市役所.伊予銀行.小学校.中学校.愛媛大学
- ・まちづくり協議会と夏休みの子どもの学習支援を協働した。
- ・小学校の校庭で、星空観察会をした
- ・県と市町消費者安全確保地域協議会支援事業の実施
- ・災害二次災害対応について地域と協働した。
- ・ゴミ回収イベントで放送局のサポート、活動の取材をうける、共同でゴミ収集を計画する
- ・イベント会場の敷地を借りる、休憩場の確保、企業様の宣伝活動等
- ・ネットワーク構築
- ・特定の部のある高校生にボランティアの要請
- ・松山以外で開催のイベントに関しては、開催地の行政に協力依頼を行っている。
- ・地域のNPOで方針が同じ方向を向いている団体とのコラボ
- ・企業、学校で学生服を回収し寄付を受ける。値付けしたものを企業の店舗の一部を借りて販売する。
- ・子ども食堂を運営する団体と連携して子どもの遊び場活動
- ・同じ目的を掲げる団体とのセミナー連携
- ・秋祭り、放デイの事業所説明会、就労系の事業所説明会
- ・まちづくり組織が開催するイベント出展、学校との生きもの調査、他団体から講師を招聘して観察会

を実施など

- ・委託、連携、共催など
- ・大学とユニファイド形式のスポーツ活動
- ・ライオンズクラブとボウリング競技会"
- ・特別支援学校での性教育活動

Q15.

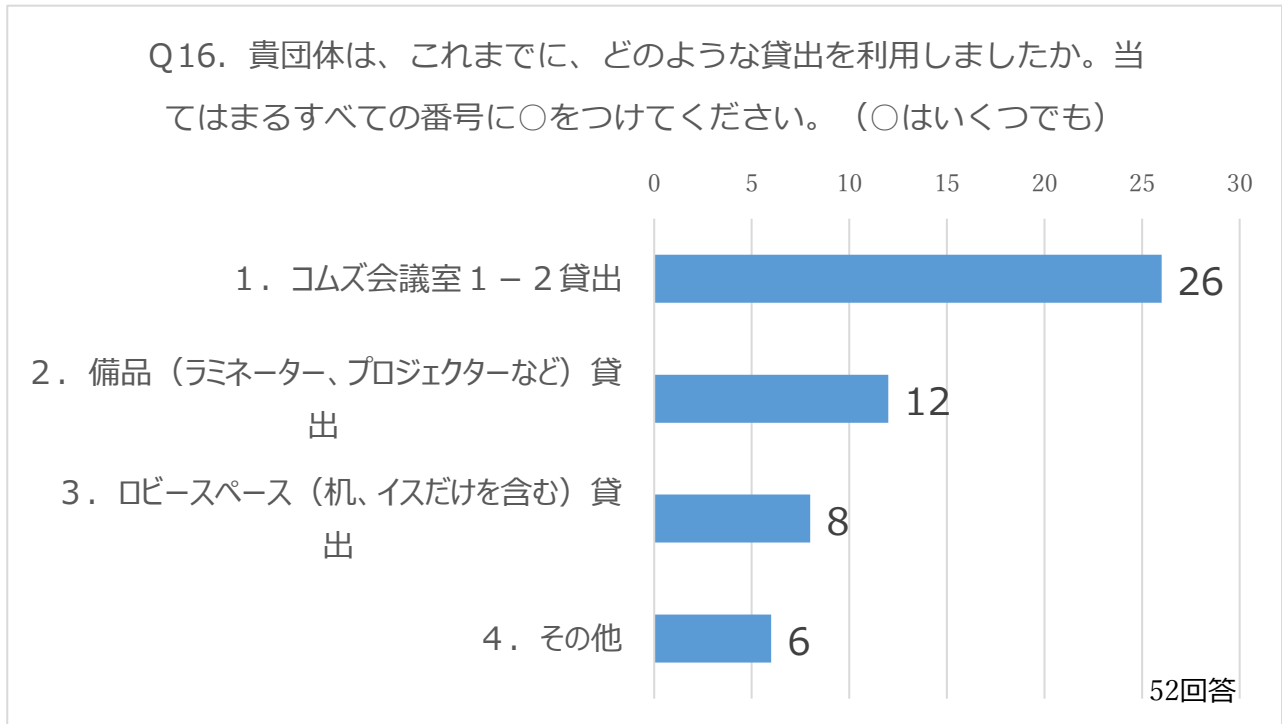
Q15. 貴団体では、他NPO団体・企業・行政機関・学校・地域団体（町内会・まち協など）などと協働・連携に関してセンターに支援してほしいことは何ですか。（〇はいくつでも）



協働・連携への支援では、「活動現場におけるパートナーシップ」の支援が21回答で最も多く、続いて「イベント実施」の支援が15回答、「企業等社員向けの講座開催協力」の支援が7回答の順となり、パートナーシップができるような支援、イベント実施に関する支援の希望が多い様子がうかがえる。

- ・その他 6 行政との連携の際の伴走、具体的に思いつかない、今のところは特に思い当たりません、ボランティア参加、記載なし

Q16



貸出では、「コムズ会議室 1-2 貸出」が 26 回答で最も多く、続いて「備品貸出」が 12 回答、「ロビースペース貸出」が 8 回答の順となり、会議室の利用が多い様子が見えてくる。

- ・その他 6 なし、利用していません、物品提供、5f 大会議室

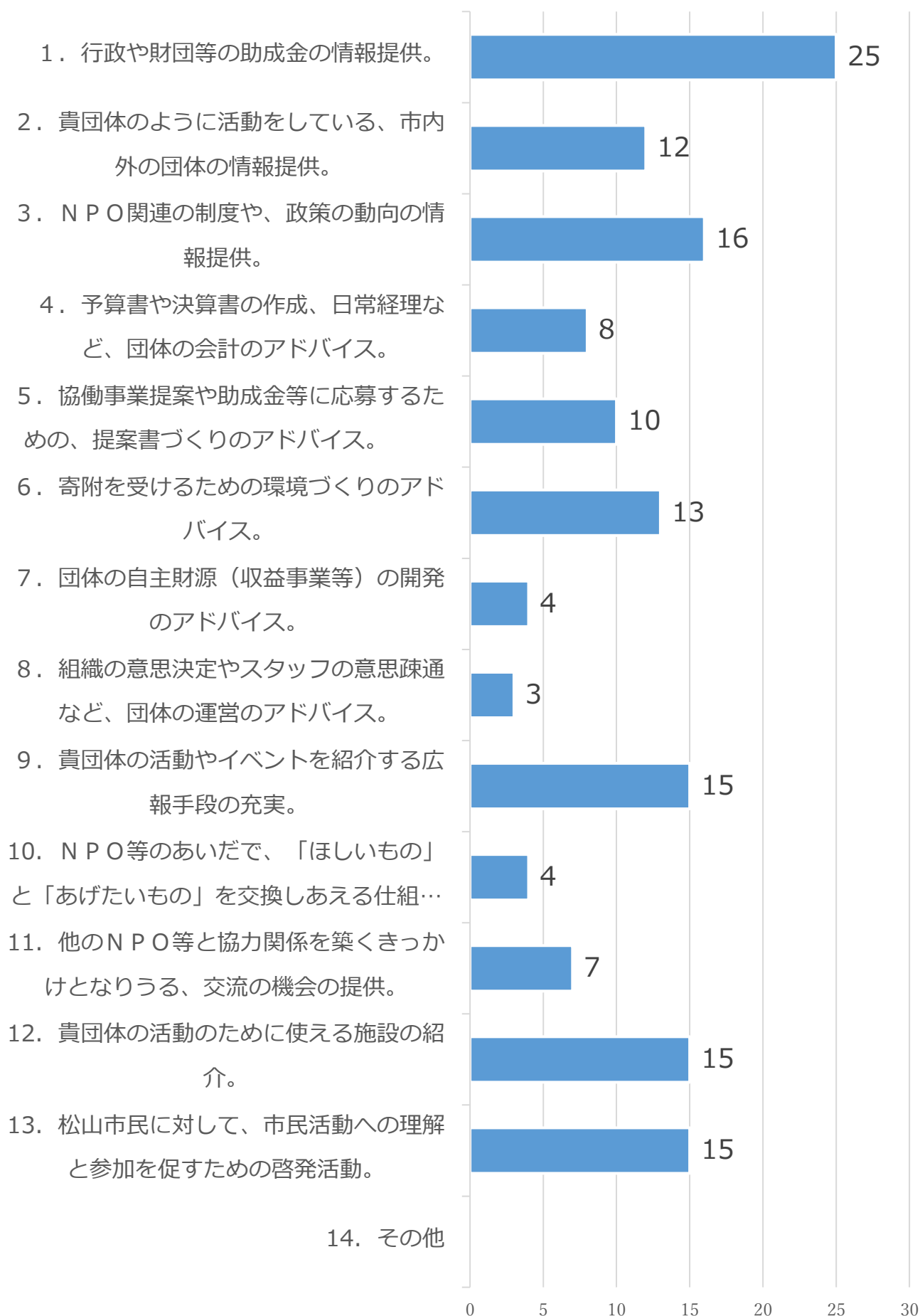
Q17. 上記以外で、貴団体は、センターにどのような貸出があれば利用したいと思いますか。具体的に  
お書きください。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・特に無し
- ・イベントが出来る敷地、会場
- ・イベント備品
- ・モバイル Wi-Fi
- ・パソコンの貸出

Q18. 貴団体は、センターに対して、今後、どのようなことを期待しますか。当てはまるすべての番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

147回答



センターの支援への期待では、「行政や財団等の助成金の情報提供」が25回答で最も多く、続いて「NPO関連の制度や、政策の動向の情報提供」が16回答、「貴団体の活動やイベントを紹介する広報手段の充実」「貴団体の活動のために使える施設の紹介」「松山市民に対して、市民活動への理解と参加を促すための啓発活動」がそれぞれ15回答、「寄附を受けるための環境づくりのアドバイス」が13回答、「貴団体のように活動をしている、市内外の団体の情報提供」が12回答、「協働事業提案や助成金等に応募するための、提案書づくりのアドバイス」が10回答の順となった。助成金の情報提供が特にニーズが多い傾向があるが、政策制度の情報や広報手段の充実、施設紹介、市民への啓発活動など全体的に幅広い期待がある様子がうかがえる。

Q19. その他、センターに対するご意見、ご要望があれば、ご記入ください。

Q20. 貴団体の名称、ご記入担当者のご氏名をご記入ください。

上記は、個人情報が含まれるため、掲載しておりません。